

【作文の部】 最優秀賞 鳴子中学校 三年 鈴木 ひかり

命の大切さ

私は、何の罪もない犬猫たちが、人間の身勝手な行動のせいで、命を落としてしまつてとてもかわいそうだと思います。
犬猫はいやされキャラとして人気のある動物であることはみなさんご存じでしょう。しかし、幸せな子たちより、不幸せな子たちのほうがとても多く多いと思います。

今、日本では一日に数えきれないほどの犬猫が毎日死んでいます。その原因となるのは私たち人間です。赤ちゃんを作らせたくないのに、避妊手術をしてあげない。生まれてきた赤ちゃんたちを育てる責任があるのに、がんばって産んだ母親のことも考えないで捨ててしまう。そんな人は数少なくありません。赤ちゃんには生きる権利があるのに、目が開く前に死んでしまいます。大きくなるまで育てても、自分の都合で保健所に連れて行き、赤の他人にもらつてもらおう。そんな人たちに私は、一度ペットの気持ちを考えてもらいたいです。いきなりたくさん種類の自分の仲間と一緒のカゴに入れられ、慣れたと思ったら、見知らぬ人のところに連れて行かれる。すごい不安だろうし、怖いと思います。でも、新しい飼い主が見つかった子はまだいいでしょう。見つからなくてどうしようもできなくなつた時、最終手段として、ガス室に入れられてしまいます。二十分間も苦しんで死んでしまう子たちはもつとかわいそうです。人間には、動物の寿命を決めることができる権利があるのでしょうか。

他に、かわいそうと思つて、飼わないでエサをあげている人もいます。生きることはできるけど、それもそれで無責任だと思います。

しかし、そのような人たちだけではありません。ボランティアで避妊手術をしてあげ、里親募集をしている人たちもいます。一人でもそんな人が増えて欲しいです。

日本だけではなく、このようなことが世界のあちこちでなつていきます。中国では、狂犬病で人が死亡したという事件がありました。そうなるってしまったのはやはり人間のせいです。その事件で、犬猫約一万匹が殺処分されてしまいました。もし、その中に狂犬病にかかつていない子がいたらと思うと悲しいです。

私は、犬猫でも、それ以外の動物でも、飼つたのなら、もしくは生まれたのなら家族同然だと思います。だから、家族である子たちを生涯大切にしていくながら、動物の気持ちも考えて、悲しむ犬猫が少しでも少なくなつて欲しいです。

わたしの手 さしだしたすかる 人がいる

【標語の部】 最優秀賞

鹿島台第二小学校 三年 石川 侑奈

だいじょうぶ わたしがそばに いるからね

【標語の部】 最優秀賞

鳴子小学校 六年 遊佐 郁也

ゆずり合う 自分がいたら 気持ちいい

【標語の部】 最優秀賞

西大崎小学校 六年 加藤 和希

さしだす手 その心こそ 未来の手

【標語の部】 最優秀賞

鳴子中学校 三年 中鉢 友望



【ポスターの部】 最優秀賞
中山小学校 三年 早坂 望羽



【ポスターの部】 最優秀賞
岩出山中学校 二年 阿部 恵莉香



【ポスターの部】 最優秀賞
鹿島台小学校 六年 渡邊 百香